

THE
MESSIAH
G.F.HANDEL

第38回クリスマスコンサート・メサイア

学校法人広島女学院



MAJORA CANAMUS

いざ、大いなることを歌おう。

And without controversy great is the mystery of Godliness: God was manifest in the Flesh, justified in the Spirit, seen of Angels, preached among the Gentiles, believed on in the World, received up into Glory.

(1 Timothy 3:16)

信心の秘められた真理は確かに偉大です。すなわち、キリストは肉において現われ、霊において義とされ、天使達に見られ、異邦人の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。

(新約聖書 テモテへの手紙 I 3章16節)

In whom are hid all the Treasures of Wisdom and Knowledge.

(Colossians 2:3)

知恵と知識の宝はすべて、キリストの内に隠れています。

(新約聖書 コロサイの信徒への手紙 2章3節)

※ロンドン初演 (1743年) の際、「メサイア」の歌詞冊子の表紙に記されていた聖書のことば



広島女学院 第38回 クリスマスコンサート

THE MESSIAH G. F. Handel

日時：2024年12月22日 (日) 16:30開場 17:00開演

場所：広島女学院ゲーンホール

主催：学校法人 広島女学院



2023年12月 第37回 メサイア コンサート



第38回メサイア上演ご挨拶

学校法人広島女学院 院長 三谷 高康
 広島女学院大学 学長

2024年のノーベル平和賞には被団協(日本原水爆被害者団体協議会)が選ばれました。被爆者の皆さんが「同じ苦しみを誰にも味あわせてはならない」と一貫して核廃絶を求め、苦しい体験の証言を通じ訴え続けてきたことが評価されたからだと言われています。

広島流川教会牧師の谷本清先生は、終戦直後に被爆の惨状を、世界に訴えました。その窮状を知ったシカゴの友人が先生に援助を申し出て、先生からのリクエストに応じてメサイアの楽譜30部が贈り届けられました。それによって、その年のクリスマスにメサイアコンサートが実現したのです。原爆投下後わずか2年後の1947年12月のことでした。それ以来、ヘンデルの名曲「メサイア」は毎年欠かさず広島で歌い継がれてきました。広島女学院のメサイアコンサートはその継承の中心的な役割を担い、今回で38回を迎えることになりました。メンバーは女学院内外の有志で構成され、毎年、充実した演奏を続けてきました。それが出来たのも広島の皆さんの平和への強い思いがあったからです。心から感謝致します。

核廃絶を世界に訴えるためにも、皆さんとご一緒に今年のメサイアコンサートを今まで以上に有意義なものにしたいと願っております。

2024年12月22日



G.F.HANDEL MESSIAH

I Part the first

- | | |
|---|----------------|
| 1. Symphony | |
| 2. Comfort ye, comfort ye my people | Tenore |
| 3. Ev'ry Valley shall be exalted | Tenore |
| 4. And the glory, the glory of the Lord | Chorus |
| 5. Thus saith the Lord, the Lord of Hosts | Basso |
| 6. But who may abide the day of His coming | Alto |
| 9. For behold, darkness shall over the earth | Basso |
| 11. For unto us a Child is born | Chorus |
| 12. Pifa | |
| 〈Recitative〉 There were shepherds abiding in the field | Soprano |
| 13. And lo, the angel of the Lord came upon them | Soprano |
| 〈Recitative〉 And the angel said unto them | Soprano |
| 14. And suddenly there was with the angel | Soprano |
| 15. Glory to God in the highest | Chorus |
| 16. Rejoice greatly, O daughter of Sion | Soprano |
| 〈Recitative〉 Then shall the eyes of the blind be open'd | Alto |
| 17. He shall feed His flock like a shepherd | Alto & Soprano |
| 18. His yoke is easy, His burthen is light | Chorus |

~ Intermission ~

II Part the second

- | | |
|--|---------|
| 19. Behold the Lamb of God | Chorus |
| 20. He was despised | Alto |
| 21. Surely, He hath borne our griefs and carried our sorrows | Chorus |
| 22. And with His stripes we are healed | Chorus |
| 24. All they that see Him laugh Him to scorn | Tenore |
| 25. He trusted in God that he would deliver him | Chorus |
| 26. Thy rebuke hath broken His heart | Tenore |
| 27. Behold, and see if there be any sorrow | Tenore |
| 28. He was cut off out of the Land of living | Soprano |
| 29. But Thou didst not leave His soul in hell | Soprano |
| 32. Thou art gone up on high | Alto |
| 36. Why do the nations so furiously rage together | Basso |
| 〈Recitative〉 He that dwelleth in heaven | Tenore |

- | | |
|--|--------|
| 38. Thou shalt break them with a rod of iron | Tenore |
| 39. Hallelujah | Chorus |

III Part the third

- | | |
|--|---------|
| 40. I know that my Redeemer liveth | Soprano |
| 41. Since by man came death | Chorus |
| 42. Behold, I tell you a mystery | Basso |
| 43. The trumpet shall sound and the dead shall be rais'd | Basso |
| 47. Worthy is the Lamb that was slain | Chorus |
| Amen. | Chorus |

「番号は原曲番号」 ※Some of the original pieces have been omitted.

メサイアについて

G.F.ヘンデル(1685~1759)はドイツに生まれ、イタリアで音楽を学び、イギリスに渡り、オペラ作曲家として大きな成功を収めました。しかし40歳台後半にオペラ興業が不調に陥り多額の負債を抱えて倒産してしまいます。そして1737年の52歳のときに卒中の発作を起こし体調を崩して演奏活動からの引退を余儀なくされました。その後体調は回復し、55歳の頃からはオラトリオの作曲(「サウル」「エジプトのイスラエル人」)に専念しますが興行は振るわず、56歳のヘンデルは次のヴィジョンを持つことが出来ませんでした。その時、数年来の友人チャールズ・ジェネズは新しい台本を作って彼に示し、彼が作曲に対してのインスピレーションを得て、これまでの作品を凌駕する作品が誕生することを期待しました。そこで彼が題材に選んだのが、聖書の最も中心的な主題である「メサイア=イエス・キリスト」だったのです。1741年8月22日、ヘンデルは作曲に着手し9月14日には完成。特別な集中力の中で、この長大な作品をわずか24日間で仕上げたのでした。

初演は翌年の1742年4月13日、「病院の支援・囚人の慰安のための慈善演奏会」としてダブリンで行われ大好評を博します。

「オラトリオ・メサイア」はI.[預言とメシアの出現]II.[メシアの受難と復活・福音の拡がり]III.[復活・永世と賛美]の3部構成・全53曲からなり、テキストは全て聖書からのみ取られています。興味深いことにジェネズのテキストは救い主イエスをテーマとしながら、福音書などのイエスに関する直接的な記述は最小限にとどめ、預言書や書簡などの聖書箇所から、その本質や意味に迫る言葉を選んでおり、救い主の出現が旧約時代の預言の成就であることを示しています。

広島女学院は砂本貞吉牧師によって創立され、ナニ・B・ゲーンズ先生に受け継がれて以来138年間、聖書を土台とするキリスト教精神のもとで教育活動を行ってきました。メサイアの演奏会はこの間、学院の建学の精神を音楽によって表す行事として様々な形で受け継がれてきました。現在、本学院ではこの演奏会をキリストの降誕の時期に合わせて、クリスマスコンサートとして行っており、第I部[預言と救い主の出現]、を中心とした抜粋でお送りしています。また、ヘンデルが初演以来この作品を慈善演奏会として公演してきたことに因み、本演奏会においても献金の全てを施設・諸団体に寄付させて頂いております。

Messiah
Georg Friedrich Händel
(BÄRENREITER URTEXT)

Part the first 第 I 部 預言とメシアの出現

救いを待ち望む民に救い主メシア出現の希望が示され、一人の子の誕生によってそれが実現する。その救い主は民を慈しみ、そのくびきを共に担い、安息を与える方として表される。
〈メサイア(英Messiah)は、ヘブライ語マシア(Masiah)、またはアラム語メシア(Mesiah)がギリシャ語化されてメシアス(Messias)となり、英語ではMessiahとなったもの。「油を注がれたもの」の意で、神の任命を受けた「救い主」という意味が与えられる。ギリシャ語音訳されたMessiasはギリシャ語に翻訳されて、救い主(Christos)になった。すなわち、メシア=メサイア=キリストはすべて「救い主」を意味し、ここではイエス・キリストを指す。〉

1. *Symphony* 序曲

2. *Comfort ye, comfort ye my people*

Tenore

〈テノール独唱〉

慰めよ、わたしの民を慰めよと あなたたちの神は言われる。エルサレムの心に語りかけ 彼女に呼びかけよ 苦役の時は今や満ち、彼女の咎は償われた、と。
呼びかける声がある。主のために、荒れ野に道を備え わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を
通せ。 イザヤ書 40:1-3

3. *Ev'ry Valley shall be exalted*

Tenore

〈テノール独唱〉

谷は全て身を起こし、山と丘は身を低くせよ。険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。

イザヤ書 40:4

4. *And the glory, the glory of the Lord*

Chorus

〈合唱〉

主の栄光がこうして現れるのを 肉なるものは共に見る。主の口がこう宣言される。 イザヤ書 40:5

5. *Thus saith the Lord, the Lord of Hosts*

Basso

〈バス独唱〉

まことに万軍の主はこう言われる。わたしは、間もなくもう一度天と地を、海と陸地を揺り動かす。

ハガイ書 2:6

見よ、わたしは使者を送る。彼は我が前に道を備える。あなたたちが待望している主は突如、その聖所に来られる。あなたたちが喜びとしている契約の使者

見よ、彼が来る、と万軍の主は言われる。

マラキ書 3:1

6. *But who may abide the day of His coming*

Alto

〈アルト独唱〉

だが、彼の来る日に誰が身を支えうるか。彼の現れるとき、誰が耐えうるか。

彼は精錬する者の火、洗う者の灰汁のようだ。

マラキ書 3:2

9. *For behold, darkness shall over the earth*

Basso

〈バス独唱〉

見よ闇は地を覆い、暗黒が国々を包んでいる。しかしあなたの上には主が輝き出で、主の栄光があなただの上に見える。国々はあなたを照らす光に向かい、王たちは射し出るその輝きに向かって歩む。

イザヤ書 60:2-3

11. For unto us a Child is born

Chorus

〈合唱〉

ひとりのみどりごが わたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君」と唱えられる。

イザヤ書 9:5

12. Pifa (羊飼いの情景)

田園曲

Orchestra

〈Recitative〉 There were shepherds abiding in the field

Soprano

〈ソプラノレシタティーボ〉

13. その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの晩をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそメシアである。

ルカ 2:8-11

14. すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

ルカ 2:13

15. Glory to God in the highest

Chorus

〈合唱〉

いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。

ルカ 2:14

16. Rejoice greatly, O daughter of Sion

Soprano

〈ソプラノ独唱〉

娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、歓呼の声をあげよ。見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、勝利を与えられた者 高ぶることなく、ロバに乗ってくる 雌ろばの子であるろばに乗って。

ゼカリヤ書 9:9

〈Recitative〉 Then shall the eyes of the blind be open'd

Alto

〈アルトレシタティーボ〉

そのとき、見えない人の目が開き 聞こえない人の耳が開く。

そのとき、歩けなかった人が鹿のように踊り上がる。口のきけなかった人が喜び歌う。 イザヤ書 35:5-6

17. He shall feed His flock like a shepherd

Alto & Soprano

〈二重唱ソプラノ・アルト〉

主は羊飼いとして群れを養い、御腕をもって集め小羊をふところに抱き、その(小羊の)母をも導いて行かれる。

イザヤ書 40:11

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。

わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの轡を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。

マタイ 11:28-29

18. His yoke is easy, His burthen is light

Chorus

〈合唱〉

わたしの轡は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。

マタイ 11:30

～ Intermission 〈休憩〉 ～



Part the second 第Ⅱ部

メシアの受難と復活・福音の広がりと迫害・神の国の到来

19. *Behold the Lamb of God* Chorus
 〈合唱〉見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ… ヨハネ 1:29
20. *He was despised* Alto
 〈アルト独唱〉彼は軽蔑され、人々に見捨てられ 多くの痛みを負い、病を知っている。 イザヤ書 53:3
 打とうとする者には背中をまかせ ひげを抜こうとする者には頬をまかせた。
 顔を隠さずに、嘲りと唾を受けた。 イザヤ書 50:6
21. *Surely, He hath borne our griefs and carried our sorrows* Chorus
 〈合唱〉彼が担ったのはわたしたちの病 彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに… 彼が刺し貫かれたのは わたしたちの背きのためであり 彼が打ち砕かれたのは わたしたちの咎のためであった。彼の受けた懲らしめによって わたしたちに平和が与えられた。 イザヤ書 53:45
22. *And with His stripes we are healed* Chorus
 〈合唱〉彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。 イザヤ書 53:5
24. *All they that see Him laugh Him to scorn* Tenore
 〈テノール独唱〉主を見た人々は皆、彼を笑い軽蔑した。
 彼らは唇をとがらせて、頭を振って 言った。 詩編 22:7
25. *He trusted in God that he would deliver him* Chorus
 〈合唱〉彼は神を信じていた。神が自分を救うだろうと。神に彼を救わせよ、もし神が彼を好んでいるなら。 詩編 22:8
26. *Thy rebuke hath broken His heart* Tenore
 〈テノール独唱〉嘲りに心を打ち砕かれ わたしは無力になりました。望んでいた同情は得られず 慰めてくれる人も見いだせません。 詩編 69:21
27. *Behold, and see if there be any sorrow* Tenore
 〈テノール独唱〉目を留めよ、よく見よ。これほどの痛みがあったらどうか。
 わたしを責めるこの痛み 主がついに怒ってわたしを懲らすこの痛みほどの。 哀歌 1:12
28. *He was cut off out of the Land of living* Soprano
 〈ソプラノ独唱〉捕らえられ、裁きを受けて、彼は命を取られた。彼の時代の誰が思い巡らしたであろうか わたしの民の背きのゆえに、彼が神の手にかかり命ある者の地から断たれたことを。 イザヤ書 53:8
29. *But Thou didst not leave His soul in hell* Soprano
 〈ソプラノ独唱〉あなたはわたしの魂を陰府に渡すことなく
 あなたの慈しみに生きる者に墓穴を見させない。 詩編 16:10
32. *Thou art gone up on high* Alto
 〈アルト独唱〉汝は高き所に昇った、汝は捕らわれた虜を率いて。人々のための贈り物を、なおその上、汝の敵のための(贈り物)さえ受けた。それは、主なる神が彼らの内に住むためである。 詩編 68:18

36. Why do the nations so furiously rage together Basso
 〈バス独唱〉なにゆえ、国々は騒ぎ立ち、人々は声をあげるのか。なにゆえ、地上の王は構え、支配者は結束して主に逆らい、主の油注がれた方に逆らうのか。 詩編 2:1-2

〈Recitative〉 He that dwelleth in heaven Tenore
 〈テノールレシタティーボ〉天を王座とする方は笑い 主は彼らを嘲り 詩編 2:4

38. Thou shalt break them with a rod of iron 詩編 2:9
 お前は鉄の杖で彼らを打ち 陶工が器を砕くように砕く。

39. Hallelujah Chorus
 〈合唱〉ハレルヤ、全能者であり、わたしたちの神である主が王となられた。 ヨハネの黙示録 19:6
 この世の国は、我らの主と、そのメシアのものとなった。主は世々限りなく統治される。 ヨハネの黙示録 11:15
 王の王、主の主 ヨハネの黙示録 19:16

Part the third 第三部 信ずる者の復活・永生と賛美・アーメンコーラス

40. I know that my Redeemer liveth Soprano
 〈ソプラノ独唱〉わたしは知っている わたしを贖う方は生きておられ、ついには塵の上に立たれるであろう。この皮膚が損なわれようとも この身をもってわたしは神を仰ぎ見るであろう。 ヨブ記 19:25-26
 しかし、実際、キリストは、死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となりました。 コリント I 15:20

41. Since by man came death Chorus
 〈合唱〉死が一人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人によって来るのです。つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。 コリント I 15:21-22

42. Behold, I tell you a mystery Basso
 〈バス独唱〉わたしはあなたがたに神秘を告げます。わたしたちは皆、眠りにつくわけではありません。わたしたちは皆、今とは異なる状態に変えられます。最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちにです。 コリント I 15:51-52

43. The trumpet shall sound and the dead shall be rais'd Basso
 〈バス独唱〉ラッパが鳴ると、死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます。この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを必ず着ることになります。 コリント I 15:52-53

47. Worthy is the Lamb that was slain Chorus
 〈合唱〉屠られた小羊は、力、富、知恵、威力、誉れ、栄光、そして賛美を受けるにふさわしい方です。 ヨハネの黙示録 5:12
 玉座に座っておられる方と小羊とに、賛美、誉れ、栄光、そして権力が、世々限りなくありますように。 ヨハネの黙示録 5:13

Amen (So be it!) Chorus
 アーメン

星野晴夫 (指揮)



エリザベト音楽大学宗教音楽学科、パイプオルガン専修卒業。ドイツ、ウェストファーレン州立教会音楽学校卒業。教会音楽科B資格を取得。オルガン奏法をロベルト・ヴリーゲン氏、フランス・ボーン氏、アーノ・シェーンステット氏に師事。教会を中心にオルガン演奏活動を行い、オラトリオ、ミサ曲、受難曲など教会音楽作品の通奏低音、オルガンを担当。広島女学院メサイア演奏会においても、オルガン・チェンバロにより通奏低音を担当してきた。広島女学院中学高等学校において音楽科教諭、管理職を勤めた。日本オルガニスト教会会員。

中川詩歩 (ソプラノ)



広島女学院中学高等学校卒業。エリザベト音楽大学演奏学科声楽専攻および同大学院修士課程修了。在学中クリスマスコンサート、卒業演奏会、修了演奏会に出演。フランスに留学しパリ・エコール・ノルマル音楽院最高課程高等コンサーティスト科ディプロムを審査員満場一致の首席にて取得。トゥール地方音楽院や多数のマスタークラスにてバロック声楽を学ぶ。これまでに益田遙、林裕美子、波多野睦美、Anne-Marie Rodde、Noémi Rime、Claire Lefilliatre、Stéphane Fuget各氏に師事。第19回大阪国際音楽コンクール歌曲部門Age-U部門第2位。第21回九州音楽コンクール声楽一般部門審査員特別賞及びANA賞受賞。欧米・アジアの音楽祭等に招聘される。広島交響楽団、バリ室内楽センター、アントネッロ、バッハ・

コレギウム・ジャパンと共演。国内外でモンテヴェルディ《聖母マリアの夕べの祈り》、バッハ《マタイ受難曲》《ヨハネ受難曲》《ミサ曲短調》、ヘンデル《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》など数多くのソリストを務める。オペレッタやバロックオペラに複数出演。2024年8月サントリーホール主催のバロックオペラ、ヘンデル《リナルド》アルミレーナ役にて天覧公演出演。Hiroshima Bach Soloists副指揮者。現在全国各地で演奏活動と指導を行う。

佐々木有紀 (アルト)



広島女学院中学高等学校卒業。エリザベト音楽大学3年次に飛び級を経て、同大学院修士課程を首席で修了。広島プロミシングコンサート、新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズにて広島交響楽団と共演。(公財)さわかみオペラ芸術振興財団留学助成金奨学生オーディションに合格し、イタリア・ボローニャ、イギリス・ロンドンにて研鑽を積む。イタリア・モデナにてマリオ・デル・モナコオペラ協会コンコロソ入賞、入賞者コンサートに出演。R. ブルゾン マスタークラス修了。オペラでは、『イドメネオ』イダマンテ、『フィガロの結婚』マルチェリーナ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ、『イル・トロヴァトーレ』アズチーナ、『カルメン』カルメン、『蝶々夫人』スズキ、『修道女アンジェリカ』公爵夫人、『ジャン

ニ・スキッキ』ズィータ、『子どもと呪文』母親・中国のカップ、『イル・カンピエッロ』オルソラ役等で出演。また、ヘンデル『メサイア』、モーツァルト『大ミサ短調』、メンデルスゾーン『エリヤ』、『ラウダ・シオン』、シューマン『レクイエム』、ブルックナー『ミサ曲第1番、第3番』、ドヴォルザーク『レクイエム』、サン＝サーンス『レクイエム』、『クリスマス・オラトリオ』、ドブニコフ『スターバト・マーテル』などの宗教曲や、ベートーヴェン《交響曲第9番》のソリストとしても活動。声楽を番場ちひろ、藤井美雪、M. ジョッシの各氏に師事。

下岡輝永 (テノール)



広島市出身。広島市立段原中学校卒業。広島県立広島観音高等学校卒業。愛知県立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻終了。エコール・ノルマル・パリ音楽院を審査員満場一致および賛辞を得てディプロム取得。これまでに藤崎育之、品川喜久子、益田遥、林裕美子、クラウス・オッカー、エディット・セリグ、カミーユ・モラヌ、フランシス・デュジャックの各先生に師事。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。現在、広島市立口田小学校事務室勤務。

平田昌久 (バリトン)



エリザベト音楽大学宗教音楽学科宗教声楽コース卒業。同大学院修了。在学中定期演奏会やクリスマスコンサートのソリストを務める。第9回都留音楽祭オープニングコンサートに出演。東京カテドラル聖マリア大聖堂にてモンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」「倫理的宗教的な森」のソリストとして、またパリのマドレーヌ寺院にてフォーレ「レクイエム」のバリトンソロを、シュッツやバッハの「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」ではイエスを務める。その他ヘンデルの「メサイア」やモーツァルトの「レクイエム」、ドヴォルザークの「スタバトマーテル」、バッハのカンタータバスソロ等、各地で独唱者として活動している。

声楽を鈴木仁、宇田川貞夫各氏に師事。

広島山陽学園山陽高等学校主幹教諭、山陽太鼓「弾」顧問、PTAスマイルコーラス、山陽声楽アンサンブルグループ指導者。

星野いずみ (コンサートミストレス)



広島県出身。広島女学院中学高等学校卒業。愛知県立芸術大学音楽学部弦楽器コース卒業。同大学大学院博士前期課程弦楽器領域修了。在学中「室内楽の夕べ」、京都・国際音楽学生フェスティバル等に出演。アジア・ユースオーケストラのメンバーとして2008コンサートツアー、20周年記念コンサートに出演。愛知県一宮市による新進芸術家サポートプログラムの支援により弦楽四重奏団として活動。アメリカ、マサチューセッツ州ボストン音楽院にてディプロマを取得。学内室内楽フェスティバル、ゼルツマン・マリンバフェスティバル(マリンピスト岡村彩実氏とのデュオ)等に出演。ボストン音楽院管弦楽団コンサートミストレスをつとめる。マサチューセッツ大学アマースト校音楽学部にて大学院弦楽四重奏演奏員、同大学管弦楽団コンサートミストレスをつとめる。イリノイ州シカゴにて、シヴィックオーケストラ・オブ・シカゴのヴァイオリン奏者をつとめる。

これまでにヴァイオリンを藤井リコ、瀬川光子、白石禮子、マーカス・プラッチの各氏に師事。あきクラシックコンサート実行委員会委員。はつかいち室内合奏団SA・KU・RA団員。

玉 理 照 子 (オルガン)



広島女学院中学高等学校卒業。エリザベト音楽大学パイプオルガンコース卒業。オルガンを山崎陽子、吉田實の各氏に師事。1989年教会オルガニスト2級認定試験(現在最高位)に合格。ニューヨークにおけるWCC教会音楽講習会、ザルツブルグオルガン講習会、プラニアフスキーオルガン音楽作曲講習会参加。教団主催キリスト教音楽講習会(東京)及び関西キリスト教音楽講習会他、東北、中・四国、九州等におけるオルガニスト講習会、賛美歌講習会、教会聖歌隊講習会の講師を担当する。2006年CD「パイプオルガンの世界」をリリース。オルガン音楽自作曲は「地には平和による祈り」(2009年)、「それ行けカーブによるメディテーション」(2017年)、「いつくしみ深いによるジャズ風変奏曲」(2019年)他多数。奏楽曲集は「讃美歌21やさしい伴奏集」(2009年)、「こどもさんびか改訂版・讃美歌21奏楽曲集」(2017年)、「讃21による新しい前奏曲集Ⅱ」(2022年)等出版、「讃21による新しい前奏曲集Ⅰ」(2024年Xmas出版予定)(すべて教団出版局)。広島流川教会音楽主事。広島女学院大学オルガニスト。同大学聖歌隊指導者。日本基督教団讃美歌委員会委員。

福 原 之 織 (チェンバロ)



広島女学院中学高等学校卒業。エリザベト音楽大学宗教音楽学科パイプオルガンコース卒業。同大学専攻科修了後、ウィーン国立音楽大学に留学。オーストリア各地で演奏会を行う。1992年オルガン演奏第1ディプロムを審査員満場一致の最優秀で取得。帰国後エリザベト音楽大学大学院にて修士課程修了。パイプオルガンを廣澤嗣人、山崎陽子、R.シヨルツ諸氏に、ピアノを益田遥、チェンバロを光井安子、通奏低音をI.ライナー諸氏に師事。また、バロックアンサンブルを宇田川貞夫氏に学ぶ。

学校法人鶴学園広島なぎさ中学校・高等学校(旧:広島工業大学附属中学校・広島高等学校)音楽科教諭を経て、2003年同学園に開校したなぎさ公園小学校の副校長に就任。翌年から校長を2010年度末まで務める。学校法人鶴学園初等中等教育研究センター長を一年間務め、2012年4月よりエリザベト音楽大学音楽文化学科教授(音楽科教育法・オルガン)。現在、学部長を務める。オルガン、チェンバロ奏者、通奏低音奏者として活動を行っている。広島流川教会音楽主事。日本オルガニスト協会会員。日本賛美歌学会会員。

広島女学院メサイア合唱団

広島女学院高等学校音楽部並びにOG
 広島女学院大学クワイヤ並びにOG
 広島女学院保護者
 広島女学院教員
 有志の皆様

〈ソプラノ〉

(一般)

有馬 規子	有田 和子	池田 清香	井本 美穂	岩崎 恵実	岩佐 実桜
畝本 実穂	大田 雛姫	大森 結衣	岡崎 博美	沖 智加	小野 さつき
折本 鞠香	勝部由起子	金子 恵子	小鶴 史恵	須川 桃花	鈴木 秀美
高見 知伸	竹本 葉子	田中 彩	出嵯 由佳	徳光 祥子	土門華奈子
中村 紀子	長谷川 史	旗手 詩織	東埜 裕美	藤崎 光央	細土ゆかり
堀永 瑞希	松永 直子	耳田恵美子	三好麻菜華	山崎 悠里	山田絵美佳
山田 典子	吉田絵理子				

(大学クワイヤ)

HUAI LI (フェイリー) 古川 采音 佐々木愛理菜 岡田紗也加

(高校音楽部)

南野優里奈 宮原 梨緒 村中 恵菜 吉富 咲帆 小島 由稟 斎木 桜花

〈アルト〉

(一般)

石津みどり	浦川 律子	恵島 遥	大西 里枝	岡田美知子	久芳 景子
高下 裕子	河内 佳織	小林 文枝	小道 直子	近藤 裕子	佐々木智恵子
島田賀奈子	島田 久美	下岡 弘恵	菅原 望	住澤 孝子	高橋 孝子
反田 良子	鄭 澄恵	道佛 桃香	中野 和美	中野 千佳	中野真理子
西村 陽子	旗手 圭子	林 智子	春山 姫果	引地 葉子	藤井 裕子
古川絵里加	文屋 典子	升島 圭美	水口 瑞希	村島 千春	安田 彩音
山崎 恭子	山崎 綾子	山野井真美			

(大学クワイヤ)

藤崎日奈子 増谷 帆香 八反田鈴楽 三浦くるみ

(高校音楽部)

小澤 悠月 加美川 純 佐々木真歩 竹内 真子 池山 晴香 岡田 清花
 河野 理子

〈テノール〉

(一般)

大島 政一	奥田 良彦	小田 義幸	金井 一	川越 三正	管野 泰久
世良 正則	空本 祐三	花子 求	福原 泰弘	間宮 達夫	六車 一樹
山岡 順三	萬 博義	和田 靖幸			

〈バス〉

(一般)

宇津 剛	上平 毅	クライン・ロナルド	坂野 守	佐々木 明	
菅田 裕喜	園田 和徳	竹内 慶法	近久 和彦	野口 陸秋	一 大輔
福岡 奏次	星野 羊一	マンガム・マシュー	松本 隆史	宮城 信幸	

広島女学院メサイアオーケストラ

広島女学院大学アンサンブル・エスポワール
広島女学院高等学校オーケストラグループ
広島女学院OG
有志の皆様

〈1stヴァイオリン〉 ※…コンサートミストレス

(一般)

星野いずみ※ 河野 美香 小谷 愛子 白石 恵史 白石百合子 白坂 幸子
竹田 理恵 遠藤 楽々 (大学生)

〈2ndヴァイオリン〉

(一般)

宮本 尚代 管野佳代子 陶山 裕 一 優子 桑原 優介 石井佳代子
(高校生)
木村 礼理 佐藤 花 佐野 里菜 政岡 杏奈

〈ヴィオラ〉

(一般)

吉本 千恵 今井ヨシエ 大林 千英 桑原 牧子 森川佳奈子
(高校生)
岩田 愛花 木屋 慧奈 竹田菜々花 松井 栞音 山本真衣子

〈チェロ〉

(一般)

大心池摩耶 永山 恭子 難波 恒久 亀井 千夏 庄司侑里子
(高校生)
青山 結娃 榎本 蒼 田中 咲耶

〈コントラバス〉

(一般)

田中 由加 渡邊 美穂 江角 朋美 種佐美穂子

〈オーボエ〉

(一般)

山口 里美 齊藤 陽子

〈オルガン〉

(一般)

玉理 照子

〈トランペット〉

(一般)

内藤 義則 中原 泰尚

〈チェンバロ〉

(一般)

福原 之織

〈ファゴット〉

(一般)

大庭 史善

〈ティンパニ〉

(一般)

原田 友紀

メサイア演奏会委員会

委員長 (院長・学長)	三 谷 高 康
委 員 (校長)	渡 辺 信 一
” (園長)	古 重 歌 織
” (事務局長)	海 田 智 浩
” (管理部長)	蒲 原 靖 男

メサイア運営担当

法人事務局	中 塚 成 美
中高事務長	川 口 早香美
高校音楽部顧問	長谷川 史
大学クワイヤ	増 谷 帆 香
大学アンサンブル・ エスポワール	遠 藤 楽 々
アナウンサー	田 谷 瑞 紀 相 原 青 空
ステージマネジャー	砂 流 克 広
字幕操作	中 本 慶 子
チラシ・表紙写真	三 梶 正 典

2023年12月メサイア席上献金総額は 256,091円 でした。
次の箇所に全額送らせていただきました。

【献金先】

- ・日本赤十字社
- ・西中国キリスト教社会事業団「広島キリスト教社会館」
- ・西中国キリスト教社会事業団「特別養護老人ホーム清鈴園」
- ・もみじ作業所
- ・抱樸
- ・つくしんぼ作業所
- ・キリスト教保育連盟

ありがとうございました。

創立138年

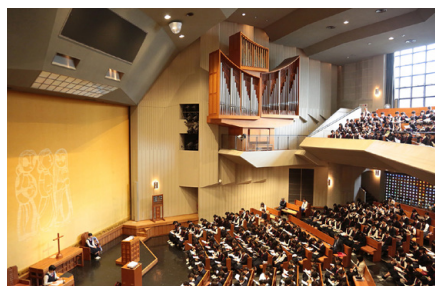
CUM DEO LABORAMUS

～我らは神と共に働く者なり～



広島女学院大学

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1
PHONE (082)228-0386 FAX (082)227-4502
<https://www.hju.ac.jp/>



広島女学院中学高等学校

〒730-0014 広島市中区上幟町11-32
PHONE (082)228-4131 FAX (082)227-5376
<https://www.hjs.ed.jp/>



広島女学院ゲーンズ幼稚園

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1
PHONE (082)228-6635 FAX (082)224-3141
<https://www.hju.ac.jp/~gensuyo/>

創立1886年(明治19年)

学校法人 **広島女学院**

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1
PHONE (082) 228-0386
F A X (082) 227-4502